

HiKOKI

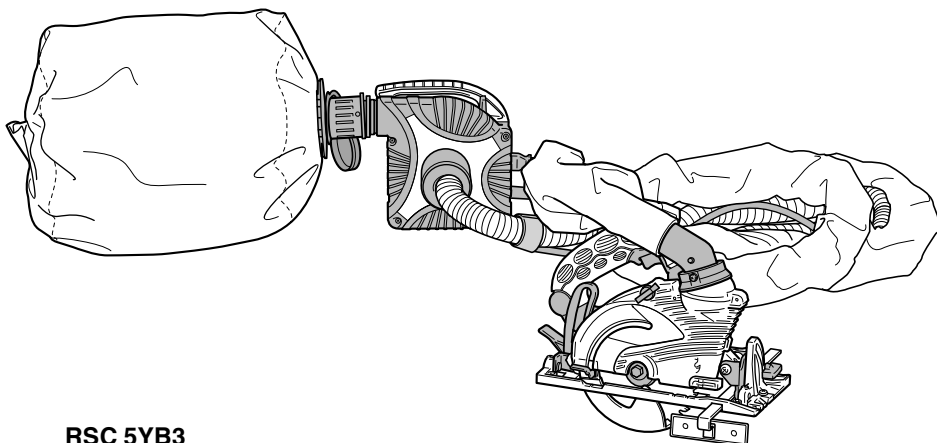
丸のこ集じんセット

RSC 4YC (集じん丸のこ C 4YC + 集じん機 R 30Y3)

RSC 5YB3 (集じん丸のこ C 5YB2 + 集じん機 R 30Y3)

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



RSC 5YB3

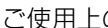
本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

目 次

	ページ
電動工具の安全上のご注意	2
集じん丸のこの使用上のご注意	5
集じん機の使用上のご注意	7
各 部 の 名 称	9
仕 様	11
標 準 付 属 品	12
別 売 部 品	13
用 途	15
作業前の準備	16
ご 使 用 前 に	18
作業前の調整	23
切 り 方	27
集じん機の使い方	30
ソーカバーの取りはずし・取付け	35
過負荷保護ヒューズについて〔R 30Y3 のみ〕	36
保 守・点 検	37
ご修理のときは	裏表紙

警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

警告

- ⑨ 保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。**
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。**
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源から抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のつがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグをコンセントから抜いてください。**
- 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ 不意な始動は避けてください。**
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - さし込みプラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⚠警告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

回二重絶縁について〔集じん丸のこ C 4YC、C 5YB2 のみ〕

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。

純正品以外の部品と交換したり、間違っ組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

集じん丸のこの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、集じん丸のことして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

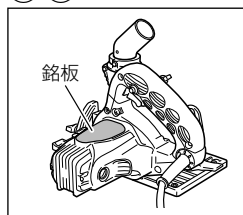
⚠警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。

- ② 保護カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。チップソーが露出したままですと、けがの原因になります。

① ③



- ③ チップソーは、銘板に表示してある範囲のものを使用してください。また、歯底径が C 4YC は 63 mm 以下、C 5YB2 は 102 mm 以下のチップソーは使用しないでください。

保護カバーのおおいが不完全となり、けがの原因になります。

- ④ 切断する材料は、安定性の良い台に置いてください。台が不安定ですと、けがの原因になります。

- ⑤ 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでチップソーがはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。チップソーがはさみつけられると、けがの原因になります。

- ⑥ 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性の良い台を設けてください。また、切り落とした材料がチップソーと接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、チップソーの出しろの3倍以上にしてください。

このような台がないと、けがの原因になります。

(17 ページの左下図を参照してください。)

- ⑦ 使用中は、機体を確実に保持してください。

確実に保持していないと、機体が振れ、けがの原因になります。

- ⑧ 使用中は、チップソーや回転部、切くずの排出部へ手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。

- ⑨ 切断途中で、チップソーを回転させたまま機体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから機体を持ち上げるようにしてください。

回転させたまま機体を戻したり、持ち上げると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。

⚠警告

- ⑩ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がするときには、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用すると、けがの原因になります。
- ⑪ 誤って落したり、ぶつけたときは、チップソーや機体などに破損や亀裂、変形がないことを良く点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注意

- ① 刃物類（チップソーなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② チップソーにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
チップソーが破損し、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ④ 作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、機体の振動やチップソーの面振れなどの異常がないことを確認してください。
異常があると、思わぬ動きをして、けがの原因になります。
- ⑤ ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
機体を落したりし、けがの原因になります。
- ⑥ 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
強い反発力が生じ、けがの原因になります。
- ⑦ 材料に釘などの異物が付いていないことを確認してください。
刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ⑧ 切断しようとする材料の上に手を置いたり、コードを材料の上に乘せたまま作業しないでください。
手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
- ⑨ 回転するチップソーで、コードを切断しないよう注意してください。
感電の恐れがあります。

⚠ 注意

- ⑩ 機体を、万力などで保持した使い方はしないでください。

チップソーが破損し、けがの原因になります。

- ⑪ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。

材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

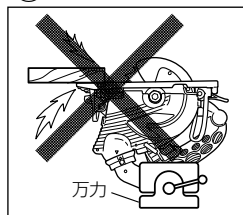
- ⑫ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。

けがの原因になります。

- ⑬ 機体を作業台や床に置くときは、のこ刃の回転が完全に停止して、保護カバーで、のこ刃がおおわれていることを確認してください。

機体が自走して、けがの原因になります。

⑩



集じん機の使用上のご注意

集じん機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 必ずアース（接地）してください。

故障や漏電などのとき、感電の恐れがあります。（詳細は 16 ページの「2. アース（接地）、漏電しゃ断器の確認」の項をご参照ください。）

- ② 使用電源は、銘板に表示してある電圧・周波数で使用してください。

表示以外の電源を使用すると、火災・感電や故障の原因になります。

- ③ 連動用コンセントに接続できる電動工具の消費電力は 1,050 W までです。1,050 W 以下で使用してください。

1,050 W を超える消費電力の電動工具を連動用コンセントに接続して使用すると、定格以上の電流が流れ、連動回路やさし込みプラグなどの故障やけがの原因になります。

- ④ 定格 15 A 以上の電源コンセントを単独で使用してください。

他の器具と併用すると、異常発熱による火災の原因になります。

- ⑤ ホースおよびダストバッグの着脱は、ファンの回転が停止したことを確認してから行ってください。

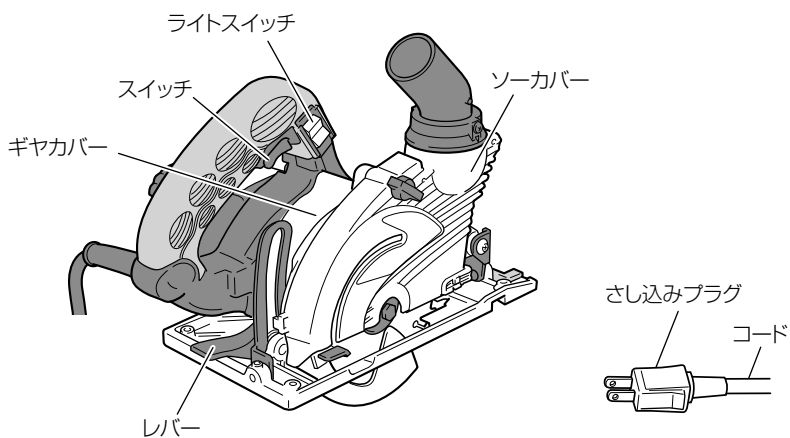
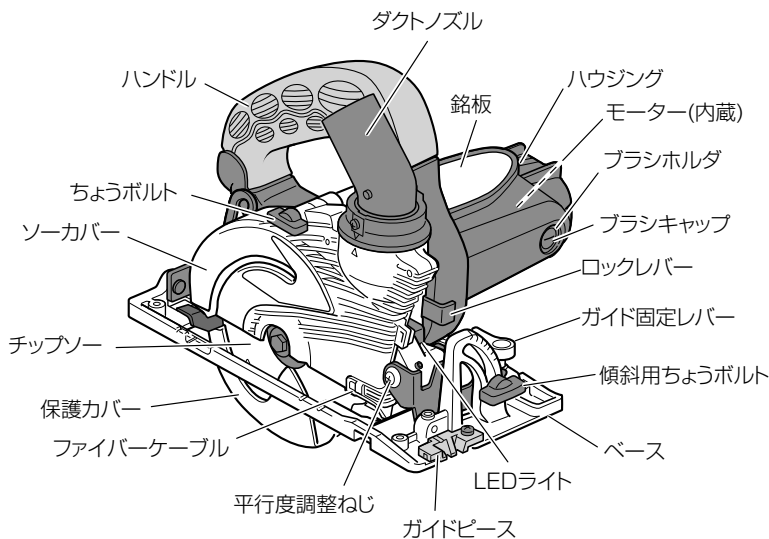
けがの原因になります。

警告

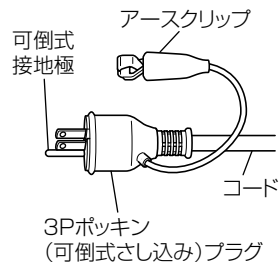
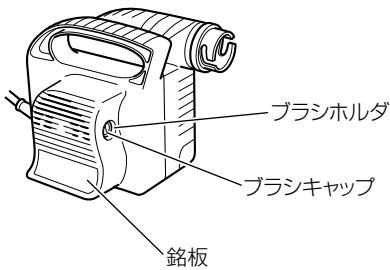
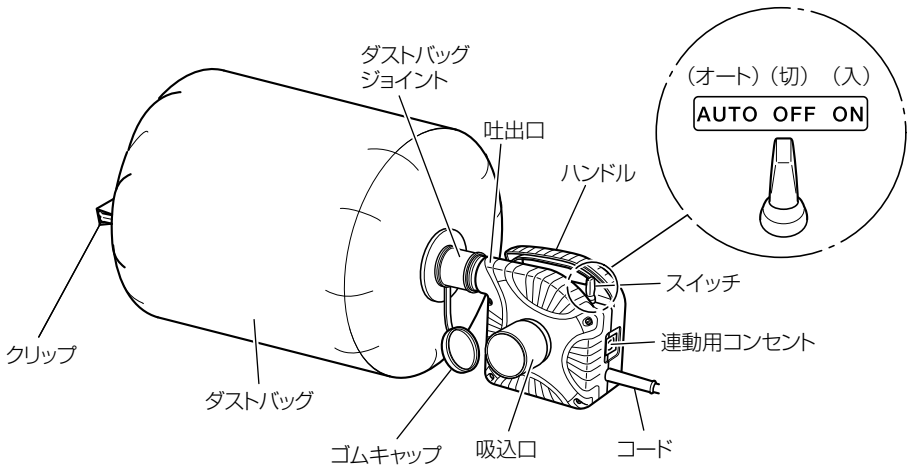
- ⑥ 機体やさし込みプラグに水や油などをかけたりしないでください。
この機体は防水構造ではないため、感電や故障の原因になります。
- ⑦ 以下のものは吸わせないでください。
- 金属の研削、切断作業時に発生する火花。
 - 火のついた、たばこの吸いがらなど高温度の物。
 - 引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）。
 - 釘、カミソリの刃など鋭利な物。
 - 水・油などの液体。
 - 木片、金属、石など。
 - セメント粉・トナーなど固化するものや、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じん。
- 火災やけがの原因になります。
- ⑧ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
火災・感電や故障の原因になります。
- ⑨ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑩ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑪ この製品は屋内用です。決して屋外で使用しないようにしてください。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

各部の名称

1. 集じん丸のこ



2. 小形集じん機



仕 様

品名・形名 項 目	集じん丸のこ 回 (二重絶縁) C 4YC	集じん丸のこ 回 (二重絶縁) C 5YB2
使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V	
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター	
最大切込み深さ	27 mm	39.5 mm
チップソー寸法	外径 100 mm × 穴径 20 mm	外径 125 mm × 穴径 20 mm
無 負 荷 回 転 数	9,000 min ⁻¹ { 回 / 分 }	
電 流	11 A	
消 費 電 力	1,050 W	
質量(コード、付属品除く)	2.7 kg	2.9 kg
コ ー ド	2 心キャブタイヤケーブル	

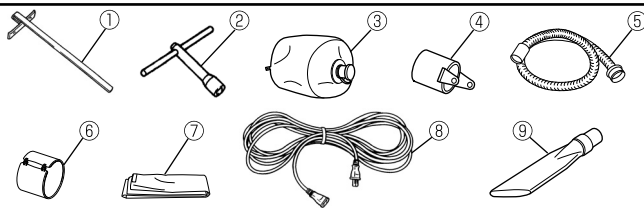
品名・形名 項 目	小形集じん機 R 30Y3
使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター
連動用コンセント	180 ~ 1,050 W ※
最 大 風 量	3.3 m ³ /min
最 大 真 空 度	6.6 kPa { 670 mm 水柱 }
集 じ ん 容 量	6.6 L (3 kg)
電 流	4.7 A
消 費 電 力	450 W
質量(コード、付属品除く)	2.2 kg
コ ー ド (5 m)	アースクリップ付 3 心キャブタイヤケーブル

※ 使用できる電動工具の消費電力

標準付属品

RSC 4YC (SN) RSC 5YB3 (SN)

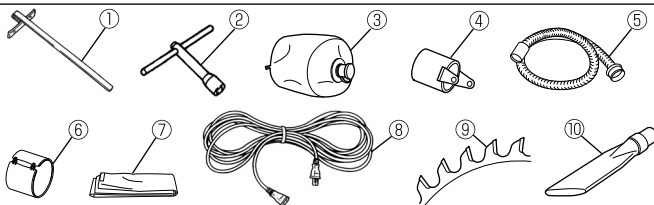
ショートコード仕様
ホースカバー付
チップソー別売



- ① ガイド 1 個
- ② ボックススパナ 1 個
- ③ ダストバッグ 1 個
- ④ ダクトアダプタ 1 個
- ⑤ ホース (内径φ 25 × 長さ 5 m) 1 本
- ⑥ ホースバンド (ゴム製) 3 個
- ⑦ ホースカバー 1 本
- ⑧ 継ぎコード (5 m) 1 本
- ⑨ すき間用吸口 1 個

RSC 4YC (S) RSC 5YB3 (S)

ショートコード仕様
ホースカバー付
石こうボード用
チップソー付



- ① ガイド 1 個
- ② ボックススパナ 1 個
- ③ ダストバッグ 1 個
- ④ ダクトアダプタ 1 個
- ⑤ ホース (内径φ 25 × 長さ 5 m) 1 本
- ⑥ ホースバンド (ゴム製) 3 個
- ⑦ ホースカバー 1 本
- ⑧ 継ぎコード (5 m) 1 本
- ⑨ 石こうボード用チップソー 1 枚

用 途 石こうボードの切断
寸 法

形 名	外 径	穴 径	チップ幅	のこ身厚さ	歯数
RSC 4YC	100 mm	20 mm	1.2 mm	0.8 mm	32 枚
RSC 5YB3	125 mm	20 mm	1.2 mm	0.8 mm	40 枚

- ⑩ すき間用吸口 1 個

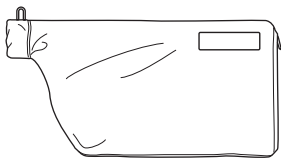
別売部品

.....（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

警告

- 別売部品を使用の際も保護メガネを使用してください。
- ジグザグ切断、曲線切り、側面使用、傾斜切断などには使用しないでください。

1. ダストバッグ

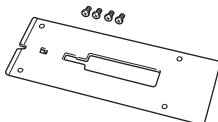


集じん丸のこを集じん機に接続しないで使用する場合に、集じん丸のこのホース取付口にさし込んで使用します。

注 切りくずは、早めに捨ててください。

ダストバッグ内に切りくずが満杯になったままで使用すると、排出口に切りくずがつまり、集じん力が低下します。

2. フッ素プレート



石こうボードを切る際にご使用ください。付属の特殊ねじ（4本）をお手持ちのプラスドライバーで締付けて取付けます。（P.29 参照）

注 石こうボード切断専用です。石こうボード以外の切断を行うとフッ素プレートのフッ素コートが剥がれフッ素プレートの滑りが悪くなります。

3. 石こうボード用チップソー〔RSC 4YC (S)、RSC 5YB3 (S) に標準付属〕



用途 石こうボードの切断
寸法

外径	穴径	チップ幅	のこ身厚さ	歯数
100 mm	20 mm	1.2 mm	0.8 mm	32 枚
125 mm	20 mm	1.2 mm	0.8 mm	40 枚

4. 一般・硬質窯業系建材用チップソー



用途 窯業系建材などの切断
寸法

外径	穴径	チップ幅	のこ身厚さ	歯数
100 mm	20 mm	1.4 mm	1 mm	18 枚
125 mm	20 mm	1.6 mm	1.1 mm	28 枚

5. 一般・硬質窯業系建材用ダイヤチップソー



用途 窯業系建材などの切断

外径	穴径	チップ幅	のこ身厚さ	歯数
100 mm	20 mm	1.6 mm	1 mm	15 枚 (※ 3D)
100 mm	20 mm	1.7 mm	1.1 mm	8 枚 (※ 8D)
125 mm	20 mm	1.7 mm	1.1 mm	15 枚 (※ 3D)
125 mm	20 mm	1.7 mm	1.1 mm	8 枚 (※ 8D)

※ダイヤモンドチップの数

6. 電着ダイヤカッタ



用途 硬質窯業系建材、押出成形セメント板の切断

外径	穴径	ダイヤ厚さ	台金厚さ
100 mm	20 mm	1.6 mm	0.9 mm
125 mm	20 mm	1.6 mm	0.9 mm

用 途

○ 各種材料の切断と集じん……………下表を参照してください。

	刃 物	切 断 で き る 材 料
標準 付属 品	石こうボード用 チップソー [RSC 4YC (S)、 RSC 5YB3 (S) のみ]	○ 石こうボード
別 売 部 品	一般・硬質窯業系 建材用チップソー	○ 窯業系サイディング ○ 合板 ○ パーティクルボード ○ 木毛セメント板 ○ 硬質細木片セメント板 ○ 硬質窯業系サイディング
	一般・硬質窯業系建材 用ダイヤモンドチップソー	○ ALC (厚さ 37 mm 以下) ○ 押出成形セメント建材 (厚さ 25 mm 以下) ※ ○ コンクリート (1 回の切込み深さ 20 mm 以下) ○ 軽量ブロック
	ダイヤモンドホイール (P.21 参照)	
	電着ダイヤモンドカッタ	○ 硬質窯業系サイディング ○ 押出成形セメント建材 (厚さ 25 mm 以下) ※

※ 押出成形セメント建材は 1 回の切込み深さを 20 mm 以下および 1 分間に 40 cm 以下の速さで切断してください。

作業前の準備

ご使用になる前に次の準備をすませてください。

1. 漏電しゃ断器の確認〔集じん丸のこ C 4YC、C 5YB2 の場合〕

この集じん丸のこは二重絶縁構造で、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2. アース（接地）、漏電しゃ断器の確認〔集じん機 R 30Y3 の場合〕

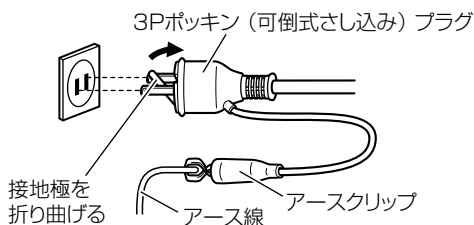
⚠ 警告

- アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがあるので、絶対にしないでください。

ご使用にさきだち、電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（以下、漏電しゃ断器と言います）が設置されていることを確認してください。

また、集じん機は必ずアース（接地）をしてください。定格感度電流 15 mA 以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアースされるようおすすめします。

アースは、接地極のある電源コンセントに 3P ポッキンプラグ（接地極付プラグ）をさし込んで行います。接地極のない電源コンセントに接続するときは、下記の図のように接地極を折り曲げて電源コンセントにさし込み、アースクリップをお使いになると便利です。



プラグのアースクリップや接地極、アース線は、異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、プラグの接地極またはアースクリップと機体の金属外枠との間の導通を確認してください。

地中に接地極（アース板、アース棒）を埋め、アース線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。

3. 延長コード

⚠ 警告

- 延長コードは、損傷のないものを使用してください。

電源がはなれているときは、電流を流すのに十分な太さの延長コードをできるだけ短くして使用します。

導体公称断面積	最大の長さ
3.5 mm ²	15 m
5.5 mm ²	25 m

左の表は、コードの太さ（導体公称断面積）によって、機体に使用できるコードの最大長さを示します。

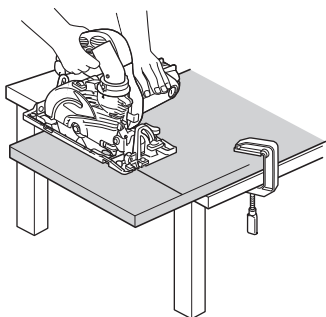
これを超える長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

※ショートコード仕様の製品のため、標準付属品または表の延長コードをご使用ください。

4. 作業台（木製）を用意する

⚠ 警告

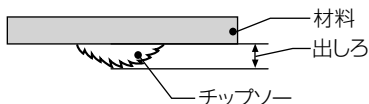
- 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性の良い台を設けてください。また、切り落とした材料がチップソーと接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、チップソーの出しろの3倍以上にしてください。
- このような台がないと、けがの原因になります。



チップソーは材料の下面より出ますので、材料は作業台の上にのせて切断してください。

また、チップソーおよび保護カバーが地面に接触しないように台の高さはチップソーの出しろの3倍以上にしてください。

切断する材料の切り残り側は、しっかり押さえてください。材料をバイスで固定するなどしてしっかり押さえて作業してください。



5. 作業環境の整備・確認

作業する場所が2ページの「集じん機の安全上のご注意」①・②・④項にか
かげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～7項については、さし込み
プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用す
るとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。

また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないで
ください。機体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源コンセントにさし
込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

【集じん丸のこ】

スイッチを引き、はなしたとき、スイッチが戻ることを必ず確認してください。

【集じん機】

スイッチ(9ページの図参照)は、「ON」側に倒す、または「AUTO」側に倒
すと入り、「OFF」に戻すと切れます。スイッチが「OFF」に戻されていることを
必ず確認してください。

3. チップソーの取付け・取りはずし〔C 4YC、C 5YB2 のみ〕

集じん丸のこは工場出荷時、チップソーが機体に付いておりません。ご使用の際は、下記の手順でチップソーの取付け・取りはずしをしてください。

ソーカバーを取付けたままでチップソーの取付け・取りはずしができます。

⚠ 警告

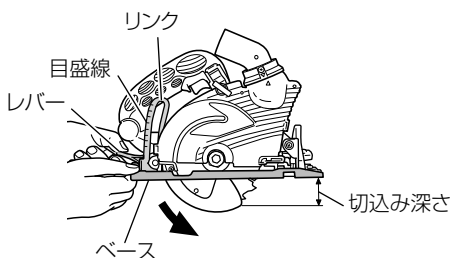
- チップソーの取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

思わぬ事故の原因になります。

- ボルトの着脱は、付属のボックススパナで作業してください。

付属以外の工具を使用すると、締め過ぎや締付け不足になり、けがの原因になります。

注 チップソーの取付け・取りはずしの際は、ソーカバーおよびファイバーケーブルを傷つけないように作業を行ってください。

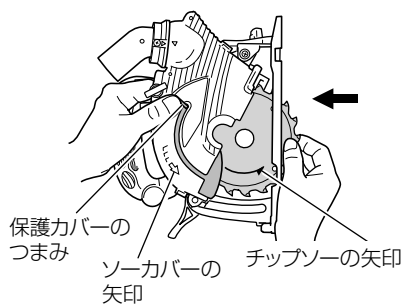


(1) 取付け方

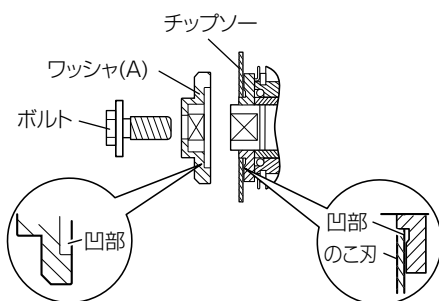
- (a) レバーをゆるめ、切込み深さを最小にします。(P.26 参照)



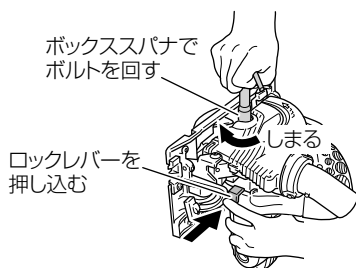
- (b) スピンドルを固定します。
ロックレバーを押し込みながら、付属のボックススパナでボルトを反時計方向に回すと、スピンドルの回転が止まる位置があります。この状態でスピンドルが固定されます。
- (c) ボックススパナを反時計方向に回し、ボルトとワッシャ (A) をはずします。



- (d) チップソーを取付けます。
保護カバーのつまみを持って、保護カバーをソーカバーの中に引き込み、チップソーの矢印がソーカバーの矢印方向と一致するようにし、ワッシャ (A) の凹部にチップソーを取付けます。

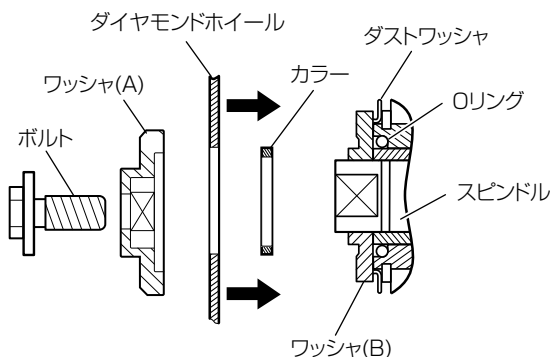


- (e) ボルトを締めます。
ロックレバーを押し込みスピンドルを固定して、ボックススパナでボルトを時計方向に十分に締付けます。



- (f) 切込み深さを調整し、レバーを締付けます。
ロックレバーが元に戻っており、チップソーが円滑に回転することを確認します。

注 ダイヤモンドホイール（別売部品）の穴径は 22 mm です。ダイヤモンドホイールに付属のカラーをワッシャ（B）にはめて取付けてください。



(2) 取りはずし方

- 前記の取付け方と逆の手順で行ってください。
- スピンドルやワッシャに付いている切りくずを良くふき取ってください。

4. レバーの締付けを確かめる〔C 4YC、C 5YB2 のみ〕

⚠ 警告

- レバーが十分締まっていることを確認してください。
ゆるんでいると、けがの原因になります。

5. ダストバッグを確かめる〔R 30Y3 のみ〕

ダストバッグは 30 ページの「ダストバッグを取付ける」の項を参照し、正しく取付けてください。

6. 保護カバーの動きを確かめる〔C 4YC、C 5YB2 のみ〕

⚠ 警告

- 保護カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
チップソーが露出したままですと、けがの原因になります。

保護カバー（9 ページの図参照）は、身体がチップソーに触れるのを防ぐものです。必ずチップソーをおおうように円滑に動くことを確認してください。万一保護カバーが円滑に動かない場合は、そのままお使いにならないでください。
この場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

7. 電源コンセントの点検

さし込みプラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタガタだったり、さし込みプラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

8. ブレーキがかかることを確かめる〔C 4YC、C 5YB2 のみ〕

注意

- ブレーキが働くときの反発力に注意してください。

機体を落としたりし、けがの原因になります。

集じん丸のこはスイッチを切ると同時にブレーキがかかる構造になっています。ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。万一、正常に作動しない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

9. ライトの点灯を確かめる

ライトスイッチの「ON」側を押すと点灯し、「OFF」側を押すと消灯します。LED ライトは刃先の奥側から照射し、ファイバーケーブルで刃先の手前側から照射します。

- 注**
- ライトのレンズ部およびファイバーケーブルの照射部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、ライトのレンズ部に傷が付かないように注意してください。

ライトのレンズ部などに傷が付くと、明るさが低下する原因になります。

- ライトのスイッチに、取付けてある防じん用力バーに傷を付けたり、防じん用力バーを破いたりしないように注意してください。

作業前の調整

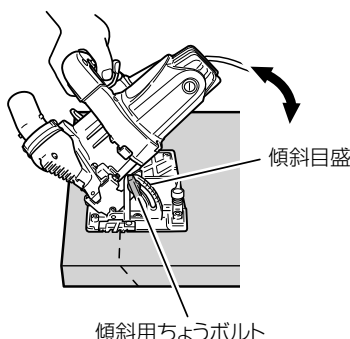
⚠ 警告

- 作業前の調整をする際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
思わぬ事故の原因になります。

1. 傾斜角度の調整

⚠ 警告

- 調整後、傾斜用ちょうボルト、レバーを十分に締付けてください。
ゆるんでいると、けがの原因になります。



- (a) 傾斜用ちょうボルトをゆるめ、傾斜角度を調整します。チップソーをベースに対して、最大 45° まで傾けることができます。
- (b) ちょうボルト締付け部に 5° 刻みの傾斜目盛が付いています。正確な角度で切断したい場合は、ベースとチップソーの角度を定規で測定してください。

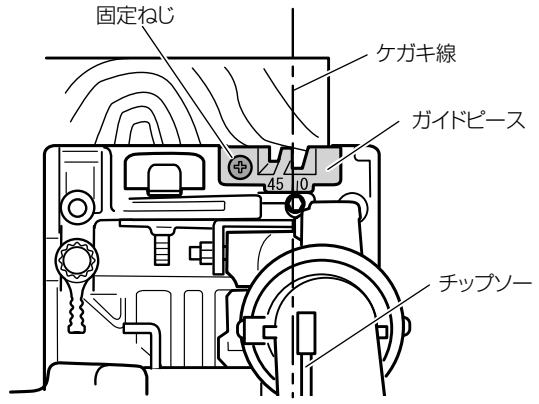
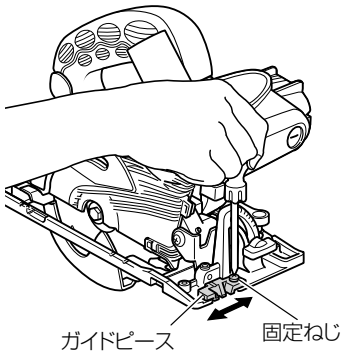
- 注**
- リンクに付いている目盛線は、傾斜切断のときは使用できません。
 - 切込み深さを調整するときは、チップソーの切込み深さを実測してください。
 - 切込み深さを調整するときは、ベースと機体の間に指などをはさまれないよう注意してください。

2. ガイドピースの微調整

ガイドピースの取付け位置を微調整できます。

工場出荷の際には、ガイドピース切欠部の直線部分をチップソーの中心位置に合わせてありますが、万一、取付け位置が狂っていた場合は、ガイドピース固定ねじをゆるめ、位置調整をしてください。

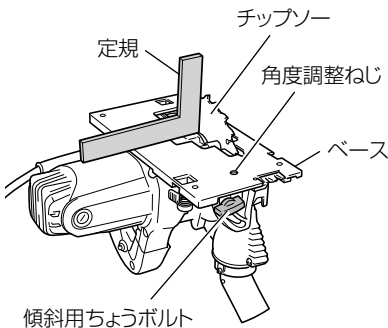
固定ねじをゆるめ、ガイドピースを左右に動かし位置を調整してください。



3. 直角度の微調整

直角度（ベースとチップソーの角度）を微調整できます。

工場出荷の際に調整してありますが、万一、角度が狂っていた場合は次のように調整してください。



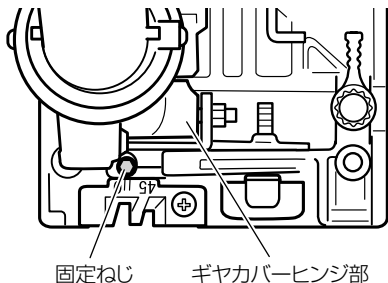
- 傾斜用ちょうボルトをゆるめ、ベース底面とチップソーに定規を当てて直角度を出し、傾斜用ちょうボルトを軽く締めます。
- 角度調整ねじの先端がベースの金属製部品に当たるまで、お手持ちの六角棒スパナ（3 mm）で角度調整ねじを回し、傾斜用ちょうボルトをしっかりと締付けます。

4. 平行度の微調整

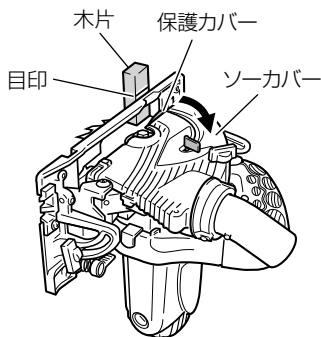
ベース側面とチップソーの平行度を平行度調整ねじで微調整できます。

工場出荷の際に調整してありますが、万一、平行度が狂っていた場合は次のように調整してください。

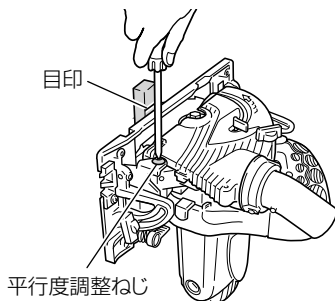
注 • 平行度調整後、切込み深さの調整を行うと、平行度が若干狂う場合があります。切込み深さを調整後、平行度の調整を行ってください。
(P.26 参照)



- (a) ギャカバーヒンジ部の固定ねじをお手持ちの六角棒スパナ (2.5 mm) でゆるめます。



- (b) 保護カバーをソーカバーの中に引き込みます。
(c) チップソーのベース後方側に木片を当て、ベース側面位置に目印を付けます。



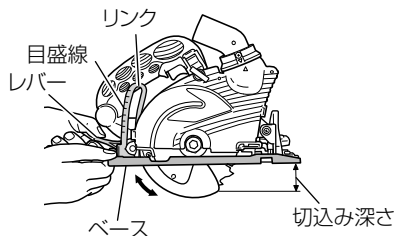
- (d) 目印を付けた木片をベース前方側に移動し、平行度調整ねじをプラスドライバーで回して目印がベース側面に合うようにします。
(e) 調整後、固定ねじをしっかりと締付けます。

5. 切込み深さの調整

⚠ 警告

- 切込み深さ調整後、レバーを十分に締付けてください。
レバーがゆるんでいると、けがの原因になります。

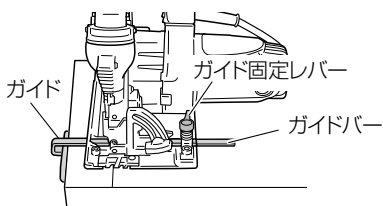
レバーをゆるめ、ベースを上下させて調整し、調整が終わったら、レバーを締付けてベースを固定します。



- 注** ●切込み深さを調整するときは、ベースと機体の間に指などははさまれないよう注意してください。

6. ガイドの取付け、調整

(1) ガイドの取付け

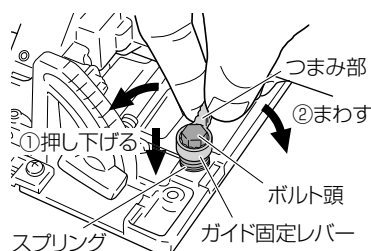
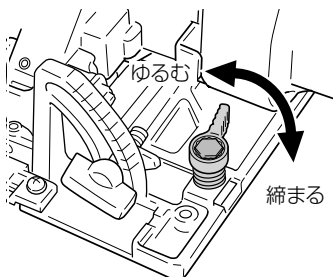


- ガイドのガイドバーを、ベース側面（切り落とし側）前方の穴に通します。
- ガイドを左右に動かして切断位置を調整し、前方のガイド固定レバーを締付け、ガイドバーをしっかりと固定します。

(2) ガイド固定レバーの位置調整

ガイド固定レバーを押し下げると、ボルト頭との合わせがはずれて自由に回転します。

ガイドをしっかり固定した後は、ガイド固定レバーを押し下げて、切断作業時のじゃまにならない位置につまみ部を回転させてください。



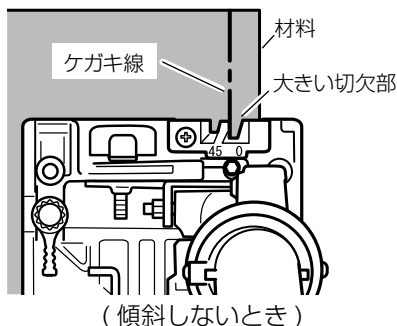
切 り 方

⚠ 警告

- 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がするときなどには直ちにスイッチを切ってください。
- 切断中に機体をこじったり、強く押しすぎないでください。機体をまっすぐにゆっくり進めるようにしてください。
反発力を受け、けがの原因になります。また、モーター部に無理がかかるとともに、チップソーの寿命を短くします。
- チップソーを上向き、横向きにした使い方はしないでください。
けがの原因になります。
- 保護メガネを使用してください。
- 耳栓を使用してください。
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

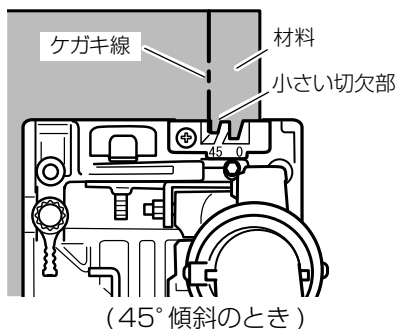
⚠ 注意

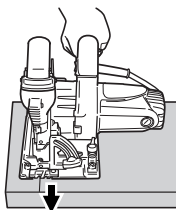
- 回転するチップソーでコードを切断しないよう注意してください。



- (a) 材料の上に機体（ベース）をのせ、ケガキ線にガイドピース切欠部を合わせます。

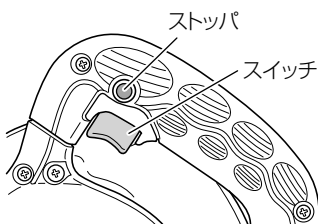
傾斜させないときは大きい切欠部を、45° 傾斜するときは小さい切欠部を目安にしてください。



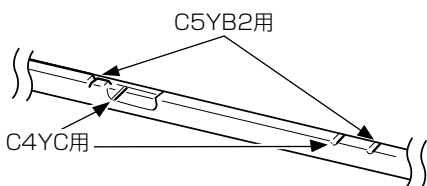


- (b) チップソーが材料に触れない状態でスイッチを入れます。チップソーの回転が最高速になりましたら、そのまま機体をゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにしてください。

ひき肌をきれいにするには一定の速さでまっすぐに進めます。

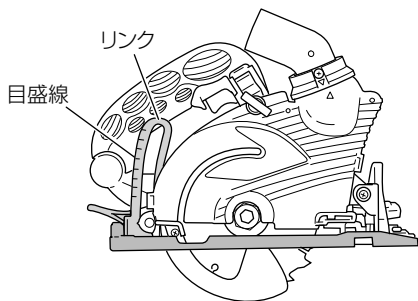


- (c) 連続運転はスイッチをいっぱい引いた状態でストップを押すと連続運転になります。スイッチを切るときは、もう一度スイッチを引き、ストップがはずれてから指をはなします。



- (d) ベース側面に付いている凹印は、最大切込み時の刃先の位置を示します。

切り始め、切り終わりの刃先の位置が確認でき、材料を途中まで切断するときなどに便利です。

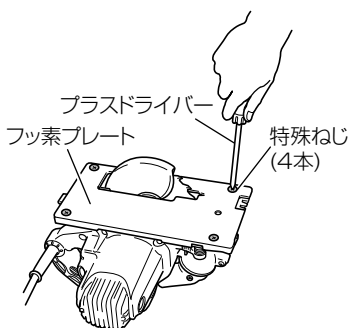


- (e) ベースとチップソーが直角の時は、リンクに付いている目盛を目安に切込み深さが調整出来ます。C4YCのリンクにはチップソー外径100mm用、C5YB2のリンクにはチップソー外径125mm用の目盛がついています。目盛線は1mm刻みです。
なお、フッ素プレート(別売部品)を取付けた時は、フッ素プレートの厚さを考慮してください。

- 注**
- コンクリートや ALC などの湿った材料を切断すると、ギヤカバーの排出口に切粉が詰まる原因になります。できるだけ乾いた状態で切断してください。
 - 切込み深さを浅くして使用する場合には、刃口が開くため、集じん力が低下します。
 - コンクリートなどを切断する場合は、1 回の切込み深さを 20 mm 以下にしてください。無理に押し付けるとモーター故障の原因になります。
 - 押出成形セメント建材を切断する場合は、1 回の切込み深さを 20 mm 以下、または送りを遅くして切断してください。
 - コンクリート切断の際に、ベースのメッキがはがれる場合があります。
 - ALC を切断する場合には、速い送りのまま切断すると、鉄筋切断時の振動で ALC が欠ける場合があります。切り終わりのときは、切断速度を落としてください。
 - フッ素プレート（別売部品）を取付けた時は、滑りが良いためモータ部に無理がかかりやすくなっています。機体を強く押しすぎないでください。

- (f) フッ素プレート（別売部品）の使い方
石こうボードを切る際にご使用ください。

- 注**
- 石こうボード切断専用です。
 - 石こうボード以外の切断を行うとフッ素プレートのフッ素コートが剥がれフッ素プレートの滑りが悪くなります。
 - 切断する時は、滑りが良いためモータ部に無理がかかりやすくなっています。機体を強く押しすぎないでください。



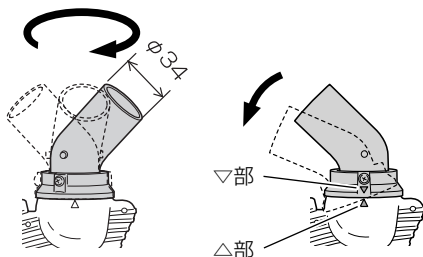
取付け方

フッ素プレートは付属の特殊ねじ（4 本）を、お手持ちのプラスドライバーで締付けて取付けます。

集じん機の使い方

- 注**
- サイディング粉、石こうボード粉など細かい粉じんをため過ぎると、粉じんが、集じん機内を逆流してモーター冷却窓から吹き出したり、機体の吸込口につまることがあります。
 - ホースの取扱いはていねいにしてください。ホースを無理に曲げたり、踏みつけたり、ホースを引っ張って集じん機を移動したりしないでください。また、ホースを折り曲げたまま収納しないでください。ホースの変形などの原因になります。
 - かんの切りくず・木片・小石などを吸い込ませないでください。ホースや吸込口につまる原因になります。つまった場合は、スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、ファンが停止したことを確認してから、つまったものを取り除いてください。

1. ダクトノズルの使い方

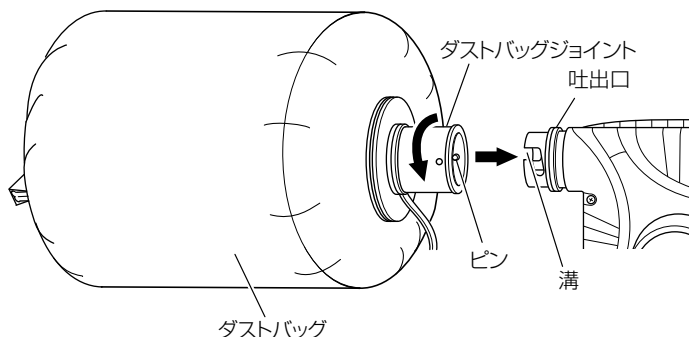


ダクトノズルが上向きときは、回転しますのでお好みの位置に調整して使用してください。

下向きにする時は、ソーカバーの△印位置とダクトノズルの▽印位置を合わせてから下向きにしてください。

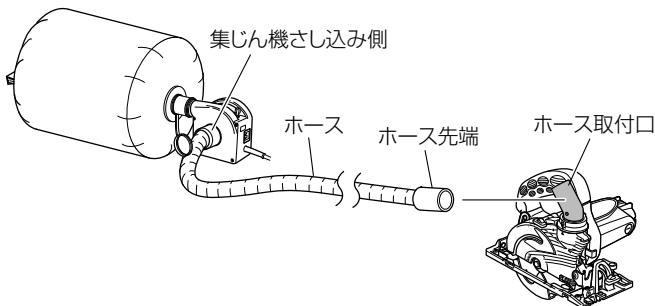
2. ダストバッグを取付ける

ダストバッグに組込まれたダストバッグジョイントの内側のピンと機体の吐出口の溝を合わせてさし込み、時計方向に止まるまで回して固定します。



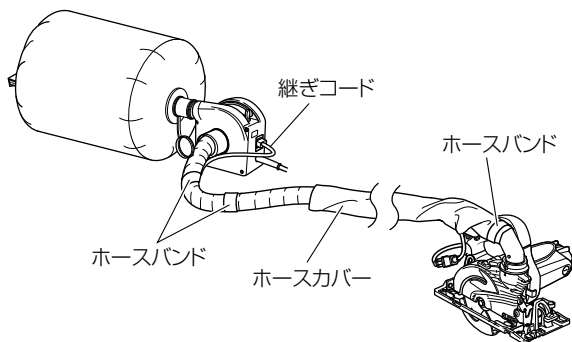
3. ホースを接続する

付属品のホースの集じん機さし込み側を集じん機の吸込口に挿入し、反対側を集じん丸のこのホース取付口に挿入します。



4. ホースカバーセットを使用する

ホースカバーセットに付いている説明書をお読みいただき、取付けてください。



5. 連動用コンセントの使い方

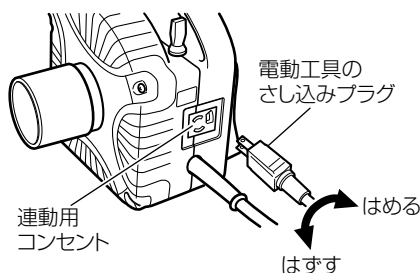
⚠ 警告

- 連動用コンセントには、集じん機のスイッチの位置にかかわらず、電圧がかかります。電動工具のさし込みプラグを連動用コンセントにさし込む場合、電動工具のスイッチが切れていることを確認してください。

電動工具のスイッチが入っているのを知らずに、さし込みプラグを連動用コンセントにさし込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

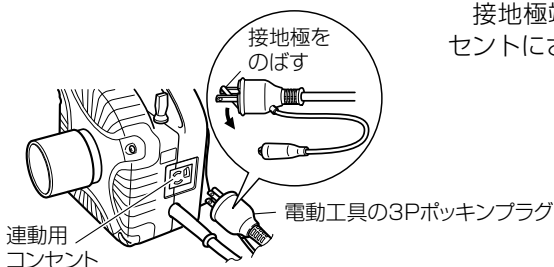
- 接続できる電動工具の消費電力は、1,050 W までです。
1,050 W 以下の製品を使用してください。
- さし込みプラグの抜け止めがかかっている状態で、コードを引っ張らないでください。さし込みプラグを左に回し、抜け止めをはずしてからさし込みプラグを抜きとってください。

(1) 集じん丸のこ (C 4YC、C 5YB2) など二重絶縁構造の電動工具のさし込みプラグの接続



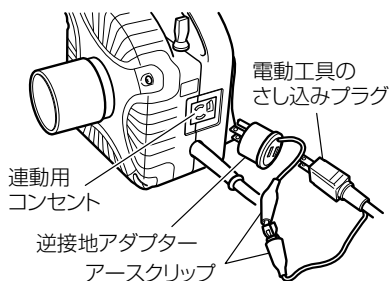
電動工具のさし込みプラグを連動用コンセントにさし込み、右に回します。右に回らなくなったところで、さし込みプラグの抜け止めがかかります。さし込みプラグを抜く場合は、逆に左に回してから引き抜きます。

(2) 3P ポッキンプラグ付電動工具の接続



接地極端子を伸ばしてから連動用コンセントにさし込み、右に回します。

(3) アースクリップ付 2P さし込みプラグの接続

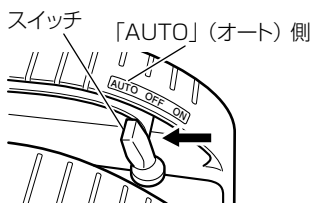


別売部品の逆接地アダプターを連動用コンセントにさし込み、右に回します。次に、電動工具のさし込みプラグを逆接地アダプターにさし込み、アースクリップを、逆接地アダプターのアースクリップに接続します。

6. スイッチの操作

- 注** •消費電力が 180 ～ 1,050 W の電動工具を連動させることができます。ただし、変速スイッチ付の電動工具は、「低速」で使用すると連動できない場合があります。消費電力が小さくて連動できない場合は、スイッチを「ON」(入)側に倒して、集じん機を単独で運転し、使用してください。

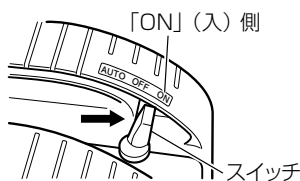
(1) 電動工具と連動させて使用する場合



スイッチを「AUTO」(オート)側に倒してください。電動工具のスイッチ操作により、集じん機が連動して運転・停止します。

なお、ホース内の粉じんを吸い込むため、電動工具のスイッチを切った後、集じん機は数秒間運転します。また、作業終了後はスイッチを「OFF」(切)に戻してください。

(2) 集じん機を単独で運転する場合



スイッチを「ON」(入)側に倒すと運転し、「OFF」(切)に戻すと停止します。

7. ちょっと床掃除をする場合

注 • 床などに飛散した粉じんの掃除をする場合、少しずつ吸引させてください。一度に吸引すると、ホースや機体の吸込口につまる場合があります。



付属品のホースの先端に付属品のすき間用吸口をさし込みます。

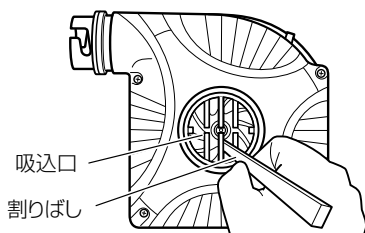
ちょっとした床掃除をする場合、便利です。

8. 吸込口の掃除の方法

注 • 吸込口の掃除には、割りばしを使用してください。

硬い棒などは機体を損傷させる原因になります。

石こうボードのように表面に紙が接着されている材料の切りくず・かんの切りくずやコンクリートの切削片など木工のこくずより大きいものを吸うと、吸込口に切りくずが詰まります。下記の手順で掃除をしてください。



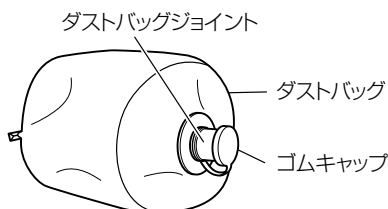
(1) スwitchを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、ファンが停止したことを確認します。

(2) 割りばしを使い、吸込口を掃除します。

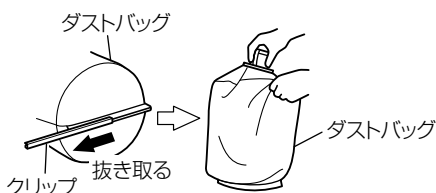
9. 粉じんを捨てる

⚠ 警告

•必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

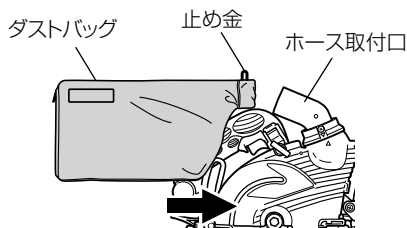


- (1) 機体からダストバッグを取りはずし、ダストバッグジョイントにゴムキャップをはめ込みます。

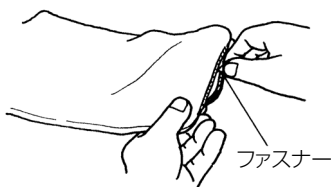


- (2) ダストバッグからクリップを抜き取り、粉じんを捨てます。

10. ダストバッグ（別売部品）の使い方



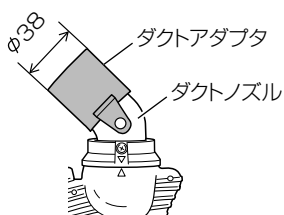
ダストバッグの止め金をつまみ、さし込み口を広げ、ホース取付口にさし込みます。



ダストバッグ内に切りくずがたまりすぎると集じん力が弱まります。切りくずを早めに捨て、ダストバッグを良く掃除しますと集じん力が強く快適に作業できます。

- (1) 止め金をつまんでダストバッグのさし込み口を広げ、機体から引き抜きます。
- (2) ファスナーを開き、切りくずを捨てます。

11. ダクトアダプタについて



他社製集じん機でホース内径φ38をお使いの場合は、標準付属のダクトアダプタを左図のように取付けてご使用ください。

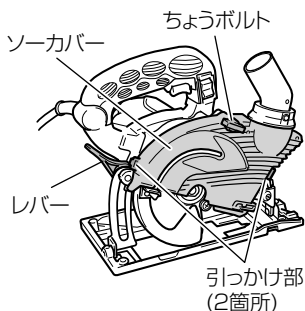
ソーカバーの取りはずし・取付け

ソーカバー内の掃除等により取りはずしの必要がある時に行ってください。

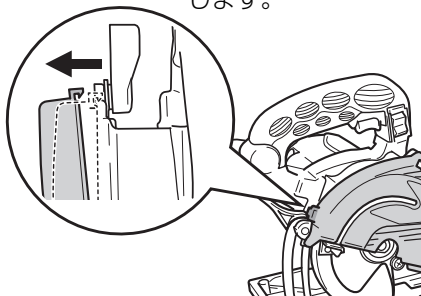
警告

- ソーカバーの取りはずし・取付けの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグをコンセントから抜いてください。
思わぬ事故の原因になります。
- チップソーを取りはずした状態で行ってください。
- ソーカバーの取りはずし・取付けの際は、安定した台や床の上で行ってください

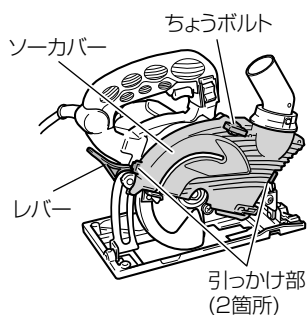
1. ソーカバーの取りはずし



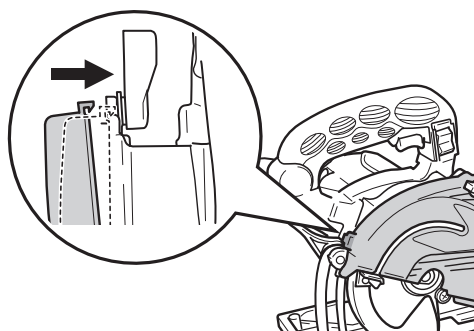
- チップソーを取りはずします。
- ちょうボルトを取りはずします。
- ソーカバーとギヤカバー引っかけ部2箇所のソーカバーの爪を矢印方向に開き、ギヤカバーの引っかけ部から爪をはずしソーカバーを取りはずします。



2. ソーカバーの取付け



- (a) レバーをゆるめ、切込み深さを最小にします。
- (b) ソーカバーとギヤカバー引っ掛け部 2 箇所のソーカバーの爪を、ギヤカバーの引っ掛け部に合わせ矢印方向に押し込みソーカバーを取付けます。
- (c) ちょうボルトを締付けて固定します。
- (d) チップソーを取付けます。



過負荷保護ヒューズについて〔R30Y3のみ〕

⚠ 警告

• モーターが回らない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

集じん機のモーター内部に粉じんが入るなどして、異常状態になると過負荷保護ヒューズが切れて、自動的に停止します。

保守・点検

⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
思わぬ事故の原因になります。

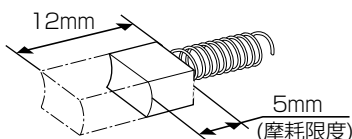
1. チップソーの点検

⚠ 警告

- 切れ味の悪くなったチップソーはそのまま使用しないでください。
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

チップソーの切れ味が悪くなったのをそのまま使用するとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますから早めに目立てするか、新品と交換してください。

2. カーボンブラシの点検



モーター（内蔵）（9 ページの上図参照）には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因になりますので、長さが摩耗限度ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

- 注** •新品のカーボンブラシと交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシを使用してください。C 4YC、C 5YB2 の場合、指定外のカーボンブラシを使用するとブレーキがかからないことがあります。

交換方法

- (1) カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでブラシキャップをはずすと取り出せます（9,10 ページの図参照）。カーボンブラシは、必ず 2 個同時に交換してください。
- (2) 新品のカーボンブラシと交換後、ブラシキャップを取付けます。

3. ダストバッグの点検

使用後はダストバッグ内の粉じんを捨ててください。ためておくと、ダストバッグの生地が傷む原因になります。

4. 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

5. 保護カバーの作動点検と保守

保護カバー（9 ページの図参照）は、いつも円滑に作動するようにしてください。なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。

6. 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

7. ソーカバー内の掃除

粉じん等がたまらないように定期的に点検・掃除してください。

8. 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
- 温度が急変する場所
- 直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00 ~ 17:00	
●フリーダイヤル  0120-20-8822	※携帯電話からはご利用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待ちする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 786-5122	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 6738-0872	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>